

BELCA

Building and Equipment Long-life Cycle Association

NEWS

quarterly
Vol. 37
No. 191

2025

4

CONTENTS

巻頭言	地震防災技術の発展に期待すること 東京大学生産技術研究所 教授 兼 防災科学技術研究所 都市空間耐災工学研究領域長 中埜 良昭	1
トップ・オピニオン	既存建築物の不動産流通活性化へ 棟NET㈱ 代表取締役社長 松田 隆模	2
第34回BELCA賞決定		3
特集 木造・木質化		18
	森と都市の共生 東京大学生産技術研究所 教授 腰原 幹雄	19
	ヨーロッパにおける中大規模建築の木質化の動向 首都大学東京 名誉教授 深尾 精一	25
	木造・木質化における防火の現在、今後の展望 早稲田大学 名誉教授 長谷見雄二	29
	外装用木材の耐久性と耐候性 日本大学 生物資源科学部 教授 木口 実	34
	木造建築物の適切な維持保全・維持管理について 国土交通省 住宅局住宅生産課 木造住宅振興室	41
	「建築用木材」から「木材の建築」を目指して ㈱日建設計 設計技術部門 テックデザイングループ Nikken Wood Labダイレクター 大庭 拓也	47
	住田町役場の取組み 岩手県 住田町 総務課・建設課	55
	構原町総合庁舎について 構原町 総務課 総務政策係	60
	木造・木質建築の外壁塗装に関する実態調査 公益社団法人ロングライフビル推進協会 開発研究部	65
しあわせな建築 第33回BELCA賞受賞建築物紹介		
	キャンパスの風景を守る～立教女学院 高等学校校舎・講堂・礼拝堂～ 学校法人 立教女学院 山岸 悦子、㈱日建設計 原田 由紀	81
	静岡新聞・静岡放送東京支社 建設当時の姿を保存・再生し、メタボリズム建築を継承する 大成建設㈱ 設計本部専門デザイン部リニューアルデザイン室 渡邊ゆたか	87
	歳吉屋-BYAKU Narai- 200年の歴史を未来につなぐ ㈱竹中工務店 設計部 美島 康人、常賀 茂樹、吉本晃一朗、長谷川裕馬	95
会員コーナー		
	「モノと空間のライフサイクル管理」という 普遍的な課題に特化した技術系ベンチャー企業 (株)アイスクウェアド	100
	令和6年度 公営住宅最適改善手法評価の実施状況 BELCA事務局	101
	事務局だより	102
	刊行図書一覧	107

特集

木造・木質化

脱炭素社会の進展やカーボンニュートラル達成を目指す動きの拡大等、サステナビリティに配慮した企業活動・経済活動が急速に進むなか、炭素蓄積量や環境配慮の観点から建築の木造・木質化が進められています。

令和7年3月に林野庁が公表した「令和6年度建築物における木材の利用の促進に向けた措置の実施状況の取りまとめ」によると、令和6年度の木造建築物の床面積ベースの着工状況は、3階建て以下の低層住宅の木造率は83.9%、低層非住宅建築物の木造率は15.5%、中高層建築物の木造率は住宅・非住宅ともに0.1%以下となっており、未だ非住宅分野や中高層建築物の木造率は低位にとどまっていることが報告されています。

今後、新設住宅着工戸数が減少していくと言われる中で、建築物への木材利用を拡大していくには、木造・木質化が十分に進んでいない非住宅分野や中高層建築において新たな木材需要を創出していくことが大きな課題として挙げられています。

しかしながら、近年、非住宅・中高層建築物の木造・木質化においては、徐々にですが萌芽的な取組みがみられるようになってきました。そこで本号では、最新の木造・木質化の普及に向けた取組みや維持管理の事例、今後の展望をまとめましたので、持続可能な社会の形成に向け皆様のご参考となれば幸いです。

特集目次

森と都市の共生	東京大学生産技術研究所 教授 腰原 幹雄…19
ヨーロッパにおける中大規模建築の木質化の動向	首都大学東京 名誉教授 深尾 精一…25
木造・木質化における防火の現在、今後の展望	早稲田大学 名誉教授 長谷見 雄二…29
外装用木材の耐久性と耐候性	日本大学 生物資源科学部 教授 木口 実…34
木造建築物の適切な維持保全・維持管理について	国土交通省 住宅局住宅生産課 木造住宅振興室…41
「建築用木材」から「木材的建築」を目指して	(株)日建設計 設計技術部門 テックデザイングループ Nikken Wood Lab ディレクター 大庭 拓也…47
住田町役場の取組み	岩手県 住田町 総務課・建設課…55
栲原町総合庁舎について	栲原町 総務課 総務政策係…60
木造・木質建築の外壁塗装に関する実態調査	公益社団法人 ロングライフビル推進協会 開発研究部…65